



第 4 回検討委員会 開催

☆平成18年10月6日(金)午後7時から
☆野庭小学校 図書室にて

今回の説明・協議内容等

- 1 統合校の設置場所について
- 2 今後のスケジュールについて



今回は、統合校の設置場所について、多くの議論が交わされました。
どちらの学校を使用するかは、次回、結論を出すこととなりました。

1 統合校の設置場所

統合した場合の両校の教室配置について事務局が案を提示しました。また、設置場所検討に当たっての考え方、各学校の施設状況、各地点から各学校までの距離・時間等、前回実施した施設見学の印象等さまざまな観点から、話し合いが行われました。

《統合に伴う教室配置 案》

※D案、E案については
委員会ニュース第2号を参
照ください。

【教室配置にあたっての設定条件】

- (1) 学級数は、普通学級15クラスで設定(学区変更案・D案での推計の平成20年度)
※E案の場合は平成20年度時点で普通学級数は17と推計されている。この場合、不足の2教室は「普通教室・個別支援教室・特別教室」以外の部屋を転用する。
- (2) 「小学校施設整備水準」の教室の種類と教室規模により配置し、既存教室数で不足する場合は、管理系諸室で調整した。
- (3) 普通教室は南側にある棟を最優先とし、北側の棟に配置するときは日当たりの良い上階に配置する。
- (4) 個別支援教室は3教室分を隣接または近接して、なるべく低層階(2階以下)に確保する。
- (5) 特別教室のうち、給排水ガス等設備を部屋の中央部にもつ家庭科室・理科室、また設備が重装備である視聴覚室は移動に経費がかかるため移動しない。(現在の場所のまま)
- (6) 防災備蓄庫は、使用時の利便性も考慮して屋外に別棟で設置する。
- (7) 「はまっ子ふれあいスクール」については今後の「放課後キッズクラブ」への転換に備え、2教室を設定した。

放課後キッズクラブの部屋の整備条件は、「静かに過ごす部屋」、「元気に遊べる部屋」の2室の整備となっている。(この他に校庭・体育館使用)ただし、放課後キッズクラブへの転換は、学校、はまっ子ふれあいスクール運営委員会等と調整の上、決定します。現段階で転換が決定しているわけではありません。

	施設整備水準 D案H20推計 15学級の場合	野庭小学校					野庭東小学校				
		現況		スタディ	配置前 教室名等	水準との 過不足	現況		スタディ	配置前 教室名等	水準との 過不足
普通教室	15.0	6.0		15.0	余裕普通 教室から	0.0	16.0		15.0		0.0
個別支援教室	3.0	2.0		3.0	B棟2F	0.0	2.0		N棟昇降口 に増設		0.0
特別教室	第一理科室	2.0	2.0	2.0	現状どおり	0.0	2.0		2.0	現状どおり	0.0
	第二理科室 (24学級～)	0.0			(不要)	0.0	1.5		1.5	〃	1.5
	第一音楽室	2.0	2.0	2.0	現状どおり	0.0	2.0		2.0	〃	0.0
	第二音楽室 (12学級～)	2.0		2.0	楽器練習室から	0.0	2.0		2.0	〃	0.0
	家庭科室	2.0	2.0	2.0	現状どおり	0.0	2.0		2.0	〃	0.0
	図画工作室	2.0	2.0	2.0	〃	0.0	2.0		2.0	〃	0.0
	図書室	2.0	2.0	2.0	〃	0.0	2.0		2.0	〃	0.0
	視聴覚室	1.5	2.0	2.0	〃	0.5	2.0		2.0	〃	0.5
	小計	13.5	12.0		14.0		0.5	15.5		15.5	
余裕普通 教室等		22.0		楽器練習室 ランチルーム他		0.0	16.0		国際教室 クラブ室他		0.0
新たな 学習空間※	多目的スペース	4.0		4.0	ランチルーム、2-1、 教具室から	0.0			4.0	現状どおり 3-3から	0.0
	コンピュータ室	2.0		2.0	現状どおり	0.0		2.0	4-1.国際教室 中学年学習室から	0.0	
	カウンセリング室	0.5		0.5	1F教具室から	0.0		0.5	クラブ室から	0.0	
	児童更衣室	1.0		1.0	防災備蓄庫から	0.0		1.0	教具室、 倉庫から	0.0	
	地域交流室	1.0		1.0	はまっ子から	0.0		1.0	現状どおり	0.0	
	教育相談室	0.5		0.5	職員室から	0.0		0.5	会議室から	0.0	
	特別活動室 (児童会議室)	1.0				-1.0		1.0	クラブ室から	0.0	
	小計	10.0		9.0		-1.0		10.0		0.0	
その他 必要諸室	ランチルーム	1.0				-1.0		1.0	現状どおり	0.0	
	国際教室	1.0				-1.0		1.0	はまっ子から	0.0	
	PTA会議室	1.0				-1.0		1.0	防災備蓄庫 から	0.0	
生活系	昇降口 (12～17学級)	1.5	2.5	A棟1,B棟1, C棟0.5	2.0	0.5	5.0	S棟3,N棟2	4.0	2.5	
管理系 諸室	校長室	0.5	0.5	0.5		0.0	0.5		0.5		0.0
	事務室	0.5	0.5	0.5		0.0	0.5		0.5		0.0
	職員室 (12～17学級)	1.5	2.0	1.5		0.0	2.5		1.5		0.0
	保健室	1.0	1.0	1.0		0.0	1.0		1.0		0.0
	保健相談室	0.5		0.5	B棟昇降口 に増設	0.0	0.5		0.5		0.0
	放送スタジオ室	1.5	0.5	0.5		-1.0	1.0		1.0		-0.5
	会議室	1.0				-1.0	0.5	教育相談室へ	1.0	児童会議室 から	0.0
	印刷室	0.5	0.5	0.5		0.0	0.5		0.5		0.0
	職員更衣室	0.5	0.5	0.5		0.0	0.5		0.5		0.0
	技術員室	0.5	0.5	0.5		0.0	0.5		0.5		0.0
	和室	0.5				-0.5			0.5	職員室から	0.0
	職員玄関	0.5	0.5	0.5		0.0	0.5		0.5		0.0
	変電室倉庫	1.0	1.0	1.0		0.0	1.0		1.0		0.0
	教材教具室 (0.5×3室)	1.5	1.0	B棟0.5,C棟0.5	0.5	-1.0			1.5	クラブ室から	0.0
	資料耐火書庫	0.5		印刷室にあり		-0.5		印刷室にあり	0.5	職員室から	0.0
小計	12.0	8.5		8.0		-4.0	9.5		11.5		-0.5
その他	学校開放用 更衣室		1.0	1.0		1.0		体育館棟 に附属		体育館棟 に附属	0.0
	はまっ子ふれあい スクール	2.0		2.0	PTA会議室 地域交流室から	0.0		余裕普通 教室に計上	2.0		0.0
合計		60.0	54.0	54.0		-6.0	64.0		64.0		4.0

※少人数指導・習熟度別指導等に使用。

※新たな学習空間・・・学習指導要領の改訂や、児童・生徒の状況に応じた教育課題に対応するための、新たな教室

防災備蓄庫は外部倉庫増築

コミュニティハウス、保育園(各4教室)を除く

防災備蓄庫は外部倉庫増築

※教室配置図については、紙面の制約により掲載しておりませんが、教育委員会ホームページに掲載しておりますので、お手数ですがこちらをご覧ください。

<http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/shoukibo/index.html>

結果の考察

(1)野庭小学校

次の諸室が確保できない。

- ①児童が使用する諸室:特別活動室(児童会議室)、国際教室(※)、ランチルーム 計3教室
 - ②管理系諸室:放送スタジオ(1教室分面積不足)、会議室(なし)、PTA会議室(なし)、教材教具室(1教室分面積不足)、和室(なし)、耐火書庫(なし) 計5教室
- ※国際教室……野庭東小には、日本語指導が必要な児童が現在13名在籍しており、担当教員から個別にあるいはグループ別に、週合計20時間の指導を受けている。この場合の日本語指導の授業は主として在籍普通学級の授業と分かれて行うため、もう1教室必要である。

(2)野庭東小学校

- ①児童が使用する諸室はすべて配置できる。
- ②さらに、第二理科室、ランチルーム、国際教室など既にある部屋も継続して確保できる。また、地域交流室とは別にPTA室も継続確保が可能である。
- ③施設整備水準との比較で不足している部屋は管理諸室のうち、放送スタジオ(0.5教室分面積不足)だけであり、管理機能に大きく影響するものではない。

□□ 主なご意見・ご質問 □□

☆施設に関する感想(施設見学を踏まえ)☆

- ☆ 野庭東小は地域交流室が、昼でも蛍光灯を点けないと暗いと思った。建物は迷路のような感じを受けた。野庭小は建物が四角くてとても視界が良い。廊下も階段も広い。建物も長持ちするのではないかなと思う。
- ☆ 両校に言えるが、外壁がかなり老朽化しており暗い感じを受けた。統合したら内装工事をして、明るい感じにしてほしい。
- ☆ 野庭小も建物は迷路のように思えた。野庭東小も迷路のように思えたが、それは大人だけで子どもたちはしっかり解っている。避難場所も確保されているので問題ないと思う。他には、両校とも明るく改修してほしい。
- ☆ 野庭東小はグラウンドが広く、多くの児童が遊べるという点で環境も良いと思う。野庭小は体育館が校舎の中にあり、出入口が1つしかないことに不安を感じた。野庭東小の体育館は出入口が多数ある。
- ☆ 野庭東小は現在、コミュニティハウスもあり、保育園もあり、地域とのつながりがあって良いと思う。
- ☆ プールの大きさに違いはあるのか。
→ プールの大きさはどの学校も同じです。設置場所の違いのみです。(まちづくり調整局)
- ☆ 野庭東小の施設は死角が多いと聞いた。広さではなく、建て方等、火災の時に逃げられるのか心配。設備面では野庭東小のほうが良いが、緊急時に逃げやすいのは野庭小だと思う。
→ 野庭東小は非常階段がきちんと整備されており、緊急時にはすぐに外に出られる構造になっているので、逃げづらいということはない。(野庭東小校長)

☆資料や事務局の説明に対して☆

- ☆ 野庭小に統合した場合、教室不足になるとのことだが、設置場所が野庭小になった場合どうするのか。
→ 普通教室、特別教室及び個別支援教室以外の部屋で考慮し、不足教室を確保します。(事務局)
- ☆ 特別教室を減らして、普通教室にすることはできないのか。
→ 授業スケジュール及び授業内容上、特別教室を減らすことはできません。(事務局)
- ☆ どちらの学校になった場合でも、改修工事は実施するのか。
→ どちらの学校になっても教室配置は変わるので、改修工事は行います。どの程度まで工事するかはまだ決まっていません。(事務局)
- ☆ 大気汚染は子どもたちにとって一番重要だと思う。車の交通量や排気ガス等環境に関する資料が欲しい。
→ 過去に計測した事実があるかどうか、資料が出せるかどうか確認してみないとわからない。(事務局)
- ☆ 統合に伴い改修工事は必ず実施するのか。他地区の統合ではどのくらい予算を確保できたのか。
→ 改修工事費は一定の予算額だが確保します。他地区では予算上で1校約1億円です。これは内装のみで、外壁や耐震補強は含まれません。(事務局)
- ☆ 統合時期が決まったので、開校までにどの程度改修ができるかのビジョンがある程度決まると思うがどうか。
→ 野庭小(A棟、B棟)については耐震補強工事が必要だが、その前に調査、診断をしてから設計作業が必要。設置場所が決まってから進めるが、着工までかなりの期間がかかる。詳細な工事期間の算定はまだできないが、耐震補強と内装工事と来年度中に工事を終わらせることは難しい。野庭東小については、仮に耐震補強が無ければ内装工事のみなので、期間は野庭小より短いと予測されます。(まちづくり調整局)

☆設置場所のメリット・デメリットについて☆

☆設置場所のメリット・デメリットについて☆

- ☆ 設置場所が野庭小の場合、どの地域から通っても10～15分ぐらい。地域の意見として、通学路は野庭小の方が安心。野庭小を設置場所とすることを希望する。
- ☆ 野庭団地の場合は高齢者ばかりで人は増えない。下野庭小や野庭東小の地域はマンション等が建っており、まだ人口は増える。その辺を考慮してほしい。
- ☆ 野庭小は団地の真ん中にあり、プールも地区センターもあり、環境は良い。野庭小はグラウンドが狭いというが、中央公園を使用することもできる。野庭東小になったら、通学路は舞岡上郷線を横断することとなる。排気ガスの件も考慮したい。
- ☆ 通学時間・距離について、野庭東小には指定地区外からの児童が沢山いると聞いている。それも考慮して検討してほしい。
→ 指定地区外からの児童は、全校生徒の1割以上の約66名います。ほとんどが通学距離及び通学安全を理由に、指定地区外就学の申請がされています。その児童についても考慮してほしいと思う。(野庭東小校長)
- ☆ 安全面から見ると野庭小は中心で良いと思うが、野庭東小に指定地区外就学で来ている公務員住宅の児童が、野庭小まで行くことになる結構時間がかかるのではないかとと思う。
→ 公務員住宅の一番遠い所から野庭小までは約25～26分ぐらいかかるのではないかと考えられます。(事務局)
- ☆ グラウンドも広い校舎も野庭小より新しいということとを考慮すると、野庭東小がいいと思う。
- ☆ どちらの学校を使用したとしても通学距離が近くなる、遠くなるという問題はどうしてもできてしまうと思うので仕方ない。校舎の使い勝手については判断が難しい。下野庭の地域はマンションも戸建ても建つが、統合校が野庭東になると、下野庭小との距離が同じという地域が若干出てくる。どちらでも構わないと思う。
- ☆ 登下校の不安感については設置場所がどちらになっても変わらないと思う。重要なのは保護者・地域の方の見守りが必要ということ。(野庭東校長)
- ☆ 野庭地区は横浜市の中でも通学区域が狭い地域だと思う。野庭小学区で一番遠くなる所で19分だが、全市的に見れば長くない。安全性について一番心配なのは、児童の道路への急な飛び出し。防犯面では、地域の協力が必要。統合してPTAの数が増えるのも魅力。学援隊の組織も必要と思う。(野庭小校長)
- ☆ 大人の視点だけでなく、子どもたちにとってどちらを設置場所にすべきかの参考とするため、一度両校のPTA代表で話し合いを行い、結果を聞きたい。

☆その他☆

- ☆ 現在、両校とも地域の防災拠点になっている。一方が無くなった場合、拠点を確保してもらえるのか。
→ 防災拠点は住民にとって大切な施設である。先に統合した例をみると、暫定利用として引き続き防災拠点として利用されている。野庭地区も引き続き防災拠点として利用されるよう、先行区の状況を踏まえて検討していきたい。(区役所)
- ☆ 統合後の跡地はどのようになるのか。
→ 今のところ使い道は何も決まっていない。暫定利用として防災拠点にしたり、学校開放も行うと思うが、侵入防止対策としてフェンスは張ります。(事務局)

ご意見が多数出されましたが、設置場所については、両校PTA代表の話し合いの意見も参考とし、次回、結論を出すことになりました。

2 今後のスケジュール

第3回検討委員会で統合時期を平成20年4月を目標とすることが決定したので、今後のスケジュール(案)を事務局が作成しました。今後はこれをもとに、進めていくこととなりました。

	第4回	第5回	第6回	第7回
統合時期	H20年統合で決定済			とり 意見 書 め
設置場所	議論	議論→決定		
学校名		決定方法を議論・決定	学校名の議論・決定	
通学区域		区域提案を議論・決定	(決定)	
通学安全			議論・要望とりまとめ	
特色づくり			意見交換・要望とりまとめ	

【次回検討委員会日程】 平成18年11月7日(火) 午後7時から 野庭小 図書室で開催予定

野庭地区小規模校再編検討委員会の経過、横浜市の基本方針等は

ホームページでもご覧いただけます。

- ・基本方針など <http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/gakku.html>
- ・野庭地区小規模校再編検討委員会

<http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/shoukibo/index.html>



野庭地区小規模校再編検討委員会は、常に皆さまからのご意見をいただいております。

FAXかEメールにて、事務局までご連絡ください。

- * 検討委員会事務局*
- 横浜市教育委員会事務局 学校計画課

FAX: 045-651-1417

Eメール: ky-noba@city.yokohama.jp

TEL: 045-671-3252

